

# インフォメーションディスプレイ Vol.21



所在地：大阪府淀川区



ホテル プラザオーサカ  
料飲部部长  
渡邊 恭尚 様



ホテル プラザオーサカ  
営業部係長  
大滝 規彦 様

## ホテル プラザオーサカ 様

昭和63年(1988)4月に開業されたホテルプラザオーサカ様は、地下1階・地上19階の構造に653室を備えたシティホテルです。コンセプトは「リーズナブルな料金で上質のサービス」。大阪はもちろん、京都、奈良、神戸へのアクセスにも恵まれた立地環境から、修学旅行や観光旅行の宿泊地としても高い人気が続いています。

## “歓迎のこころ”を映す、 『PN-465』による『液晶案内システム』。

液晶案内システム

1台導入  
(ロビー)

大阪市内の北部に位置するホテルプラザオーサカ様は、宿泊に、お食事に、式典にと、幅広いニーズに応えられているシティホテルです。ホテルの第一印象を決定づけるメインロビーは、正面玄関からの採光や間接照明で、優しく落ち着いた雰囲気。美しく輝く総大理石造りのデザインが、清潔感、上質感を醸し出しています。

その傍らで、フロントマンの方々と一緒にお客様をお迎えしているのが『PN-465』を使った『液晶案内システム』です。コンテンツ配信/表示システム『e-Signage』を活用しながら、本日のご宴会、ご宿泊の団体名称を表示し、歓迎のこころを映しています。



『PN-465』を使った『液晶案内システム』は専用のスタンドで自立。キャスター付きで移動も可能。

### 導入時の評価ポイント

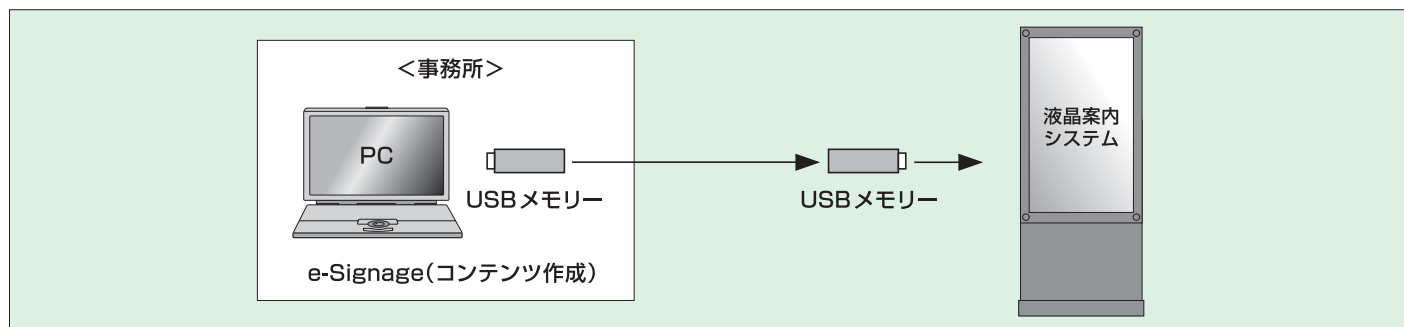
■ フロントで目を引く  
■ 明るく美しい情報発信力

■ ネットワーク工事の必要がない  
■ シンプルなシステム構成

■ ホテルのイメージを損なわない  
■ スタイリッシュなデザイン

■ コンテンツの制作が容易な  
■ コンテンツ配信/表示システム『e-Signage』(イーサインエジ)

## ■ システム概略図



## 導入の経緯

リニューアル工事をきっかけに、  
新たな案内板を探していました。

以前はパソコンで入力した宴会名称や団体名称、そして会場名を用紙に出力し、案内板に差し込んでいたというホテルプラザオーサカ様。「そんな中で、お客様をお迎えする気持ちが表現でき、楽しんでいただける表示方法はないものかと考えていました」と、料飲部の渡邊部長はおっしゃいます。「そこで巡り合ったのが、シャープのインフォメーションディスプレイです。デモンストレーションを見た社長をはじめ役員一同も、表示の美しさをたいへん気に入りました。」

以前に使われていた縦型案内板の設置スペースに、ぴったりと収まった『液晶案内システム』。コンテンツは『e-Signage』を使って

制作され、そのデータはUSBメモリーから『液晶案内システム』に配信されます。大理石に穴を開けたくないという思いのホテルプラザオーサカ様に対して、ネットワーク工事が不要なことも大きなアピールポイントになりました。リニューアルにより、さらにスタイリッシュな空間へと生まれ変わったホテルプラザオーサカ様にとって、まさに希望に合ったインフォメーションツールが『液晶案内システム』でした。



本日のご宴会・ご宿泊案内は固定画面。画面の下部に設けられたホテル内のインフォメーションは、時間とともに切り替わる。



## 導入後の感想

ディスプレイの特長を活かして  
色鮮やかで動きのあるコンテンツを制作しています。

コンテンツの制作を担当される営業部の大滝係長は「とても綺麗で見やすくなったと、お客様からお褒めの言葉を頂戴しています。」とおっしゃいます。表示が単調にならないよう大滝係長は、コンテンツの種類や色づかいにも一工夫。「四季や時間帯によって表示を変えることはもちろん、レストランの案内では調理や

配膳シーンなどを動画で紹介しています。」取材時には夏の花火大会を目前に控えていたことから、昨年の花火映像がコンテンツに盛り込まれていました。

お客様に喜んでいただけるよう、いろいろなアイデアを取り込まれる大滝係長。渡邊部長もその成果に「画面に動きがあることで、立ち



現在は3名でローテーションを組み、データの入力を担当。午後8時から午後9時にかけて、USBを使い翌日のデータを『液晶案内システム』にセットする。

止まってじっくりと見られる方が増えました。お客様からも好評です。」と微笑まれます。

## 今後の展開予定

インフォメーションディスプレイを使って、  
地域の活性化にも貢献したいと思っています。

今後は『液晶案内システム』を使って、地域情報を発信していきたいとおっしゃる渡邊部長、大滝係長。「インフォメーションディスプレイをホテルだけのものではなく、地域の活性化につながるツールとしても利用しようと構想中

です。ホテル界隈では有名なお祭りや地元商店街主催のイベントが数多く開かれています。そのコマースをコンテンツに取り入れ、地域の皆さんのお役に立ちたいと考えています。」常にお客様と地域のことを考えるホテルプラザ



ホテルプラザオーサカの大滝係長(左)、渡邊部長(右)。

オーサカ様。その「こころ」が、時代とともにお客様の増やし続けていらっしゃる理由なのでしょう。

## ● お問い合わせは

## シャープ株式会社

情報通信事業本部 ビジネスソリューション事業部  
電話：(03)3260-8217 / (0743)55-6373

2007年8月発行